

本町の平均自立期間の現状は

副町長 全国平均とほぼ同じ81歳前後で推移している



前半 後半
録画を配信



まる かわ まさはる
丸川雅春 議員

健康福祉センターのグランドオープンにより、健康寿命の延伸を期待する。

平均自立期間

問 本町では健康寿命の考え方に基づく指標として、平均自立期間を用いているが、現状をどう捉えているか。

副町長 令和4年は80・9歳となっており、全国平均とほぼ同じ81歳前後で推移している。健康づくりと介護予防を着実に進めることが重要と考えている。

問 延伸に向けた課題として、どのようなものがあるのか。

副町長 高血圧や心臓病で治療されている方の割合が多いことや、

運動習慣がある方の割合が低いこと、健康教室に参加できる方が限られていることが挙げられる。

問 延伸に向けた今後の考え方は。

副町長 自分の健康は自分で守ることが基本であると思う。健康で貢献する、という意識を醸成するような環境整備や取り組みをしっかり行っていきたい。

無関心層への取り組み

問 健康に無関心な方へ、関心を持っていただくために、どう取り組みでいくのか。

健康福祉課長 ポイントが付与され、楽しみながら健康づくりにつながる取り組みや、健康まつりや健診の個別の案内など積極的な情報提供により、健康づくりのきっかけとしていきたい。



多くの方に利用されています

トレーニングルーム

問 プレオープンにおけるトレーニングルームの利用状況は。

健康福祉課長 10月10日の供用開始以来、11

月30日まで稼働日数38日間で、延べ2269人、一日平均60人だった。

傾向として、土日の利用が多く、平日の午前は比較的高齢の方、夕方以降は比較的若い方に利用いただいている。



健康体操でいきいき

生活習慣

問 生活習慣において良い習慣、悪い習慣の周知の拡大も重要であると思われるがいかがか。

健康福祉課長 分かりやすく、自身の生活に取り入れやすい形で伝えることが大切と考えている。健康づくり教

室や地域のふれあいサロン等の場で、対話を行いながら周知に努めていきたい。

児童・生徒への対応

問 早い時期から自身の健康状態を把握し、健康に関心を持たせる対策も重要と思われるがいかがか。

健康福祉課長 こどもの健康づくり健診事業の案内に同封して、全ての児童・生徒に早い時期からの生活習慣が将来の健康に影響があることを伝えている。また、健診を受けた方には結果と問診票の回答を踏まえ、保健指導を行っている。

私もひとこと

健康福祉センターのトレーニングルームに、専属トレーナーの方を置いて欲しい。
(60代女性)